

教師用 指導案

1. 授業名

テーマ 東京 2020 スペシャル

授 業 東京 2020 パラリンピックのレガシーについて考えてみよう！

2. 授業の目標

- ・国立競技場の施設・設備の様子や建設までの過程を知ることを通して、東京 2020 パラリンピックのレガシー（未来に受け継いでいくもの）について学び、共生社会の実現に向けて人々の意識や態度が変わりはじめ、共生社会を目指す動きが広まってきていることもレガシーであることを知る。
- ・共生社会の実現に欠かせないものの見方や考え方を理解し、未来に継承していくために今後自分にどのようなことができるのかを考える。

3. 本時の位置づけ

- ・中学校の「社会科（公民）」「総合的な学習の時間」「道徳」、高等学校の「総合的な探究の時間」「公民科」における事例学習として活用。
※その他、学級活動や学年集会などの時間に活用してもよい。

4. 指導上の留意点、工夫点

- ・東京 2020 大会のレガシーの 1 つである国立競技場は「誰もが気持ちよくスポーツを楽しめる場所」、ひいては「誰もが自分らしくいられる社会」を体現しているといえる施設であるが、それは設計の段階から、様々な人たちの人権に配慮した工夫があったから可能になったことに気付かせたい。
- ・「より多くの人にとって気持ちよく過ごせる場所」をつくるために不可欠な、2 つのプロセスを理解させたい。1 つめは、立場が異なる人たちの声を集めること。2 つめは、その意見を集約する上で相反する見解がある場合は、対話を通してお互いの立場に対する理解を深め、よりよい案を検討していくこと。自分たちの経験とも重ね合わせて考えられるとよい。
- ・環境や人々の意識や態度が変わっていけば、不便や困難な状況が軽減できることに気付かせたい。また、大会をきっかけに広がった共生社会を目指す動きを止めず、さらに進めていくことが東京 2020 パラリンピックのレガシーの 1 つであることを伝えたい。
- ・本授業は共生社会について学ぶため、中学校・高等学校における「公民」の該当単元に関連付けて取り扱ってもよい。

「主体的・対話的で深い学び」を目指すために、Think Pair Share の活動を取り入れています。

T Think…一人、グループで考える。 **P** Pair…隣の人と意見交換する。

S Share…発表を通してクラスやグループのみんなと考えを共有する。

5. 準備物

- ・授業用シート（東京 2020 スペシャル）
- ・教師用授業ガイド（東京 2020 スペシャル）
- ・生徒用ワークシート（東京 2020 スペシャル）
- ・映像資料：選手たちの想い ～スポーツ以上の役割をもつパラリンピック～



〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (6分) 【6分】 映像3分	<p>○パラリンピアン映像を見て、パラリンピアン姿や言葉に刺激を受け、パラリンピックについて学びたい気持ちになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張っているパラリンピアン言葉聞いて、すごいと思った。 ・金メダルをとるより大事なことって何？ 	<p>「今日のルール」の説明をする。 「考える」「意見交換する」「(考えを)共有する」</p> <p>映像を見よう</p> <p>授業用シートP. 4～6</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導入はクラス状況や既習事項などによって変えてもよい。 ○選手の映像を見せ、生徒の感想などを聞きつつ、本時の授業の狙いにつなげる。 ○パラリンピックが目指すことと、共生社会の意味を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート ・教師用授業ガイド ・映像資料： 選手たちの想い ～スポーツ以上の役割をもつパラリンピック～ <p>※生徒用ワークシートを使用してもよい。</p>
展開① (9分) 【15分】	<p>国立競技場を例にレガシーについて考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東京 2020 パラリンピックのレガシーについて考える。 ・国立競技場や選手村、道路などがレガシーだと思う。 ○車いすエリアの工夫について考える。 ・一緒に来た友だちと離れた席になったらいやだな。 ・前の人が立ち上がったら、見えなくなることもあるかもね。 	<p>授業用シートP. 7～19</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レガシーの言葉の意味を考えさせる。 ○国立競技場の車いすエリアの工夫について、授業シートに沿って進めることで、以下の工夫が施されていることを理解させる。 「サイトラインが確保されている」 「同伴者と一緒にいられる」 「十分な席数があり、席が選択できる」 ○車いすエリアの工夫によって、車いすユーザーが他の人と同じように普通に楽しめるようになったことを伝える。 <p>※授業用シートの「Q」マークでは教師の発問と生徒の意見発表によって授業を進め、一方的な情報伝達にならないように留意する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート ・教師用授業ガイド <p>※生徒用ワークシートを使用してもよい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ○最後列以外の生徒が立ち上がる。 ○最後列の生徒が、前の人が立ち上がった時の気持ちを発表する。 ・前だけ盛り上がっていて、取り残されているような気がした。 	<p>〈スライド12について〉 教室で最後列の生徒を座らせたまま前列の生徒を立たせ、前列の生徒だけで盛り上がる状況をつくる。この状況で最後列の生徒の気持ちを発表させ、その後、クラスで問題解決のアイデアを考えさせる。 →解決の方法として「前の人に座って欲しい」「自分の席を高くしたい」などを考えられるようにする。</p>	

時間	学習活動 ○子どもの活動 (引き出した生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
展開② (15分) 【30分】	<p>T 国立競技場の設備の工夫はどのように考えたの？</p> <p>○国立競技場の設備の工夫はどのようにして考え出されたのかを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、お父さんと弟が外出した時、おむつを替える場所がなくて困ったって言った。 ・赤ちゃんをだっこしているパパをよく見かけるもんね。 ・熱中症対策で水分補給が必要なのに、トイレの心配をして水分を控えたために体調を崩した、ということがないようにしたいよね。 	<p>●授業用シート P.20～32</p> <p>○誰がどのように考えたのか、自由に発表させる。</p> <p>○国立競技場の設備は、ユニバーサルデザインワークショップと呼ばれる場で、さまざまな団体が集まり、考えや意見を出し合っ て決められたことを伝える。</p> <p>※ユニバーサルデザインワークショップの名称を覚えさせる必要はなく、さまざまな立場の人たちが話し合っ て設備がつけられたことをおさえるようにする。</p> <p>※本時では男性用トイレと男女共用トイレを例に、どのような提案で改善が行われたのかを理解させる。</p> <p>※障害のある人だけではなく、乳幼児のいる父親や高齢者なども利用しやすいように話し合 われたことを理解させる。</p> <p>○ユニバーサルデザインワークショップの今後の課題を理解する。</p> <p>○国立競技場は、共生社会を実現する動きを加速させる存在であることを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート ・教師用授業ガイド <p>※生徒用ワークシートを使用してもよい。</p>
展開③ (15分) 【45分】 ワークシート記入 10分 発表5分	<p>わたしたちにできることを考えよう！</p> <p>○自分ができるところを考えて発表する。</p> <p>※生徒の考えの具体例は〈教師用授業ガイド〉を参照。</p>	<p>●授業用シート P.33～35</p> <p>○これまでの授業を踏まえて、自分にできることを「日常生活」「将来の職業」「政治参加」「社会貢献」から選ばせて、考えをワークシートに記入させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート ・教師用授業ガイド ・生徒用ワークシート
まとめ (5分) 【50分】	<p>T 今日の授業を振り返ろう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会にむけた動きに参画できるように、常に考えていきたい。 ・いろいろな立場の人たちが話し合うのは大変そうだけど、理解し合うことが大切だと思った。 	<p>●授業用シート P.36～37</p> <p>○授業を振り返って、感想をワークシートに記入させる。</p> <p>○まとめとして、授業用シート P.37 を読み合わせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート ・教師用授業ガイド ・生徒用ワークシート